

修学旅行生徒心得

群馬県立太田高等学校

1. 心得

修学旅行は、学習活動の一環である。普段の学校生活と同様な生活態度や行動が要求される。引率職員、関係者の指示や諸注意に従い、規律と節度ある集団行動をとらなければならない。また、安全面では、交通ルールを守り、事故に遭わないように十分注意する。食中毒等も心配されるので、各自が暴飲暴食を慎み、衛生管理及び健康管理に注意を払う。高校生活最大の行事である修学旅行を、快適で安全なものとし、楽しい思い出になるよう努める。

2. 準備

(1) 服装・・・全行程、私服を着用する。

- ① 太高生としての自覚を持ち、清潔な身なりに努める。
- ② サングラス・アクセサリ等の装飾品は一切身に付けない。
- ③ 私服の色、形状等は華美、奇抜なものは避ける。
(だらしない着こなし全般、戦争・軍隊を連想させる柄 等)
- ④ 靴は履き慣れた、歩きやすい運動靴とする。(サンダル等はホテル内のみ可)
- ⑤ ホテル到着後、部屋の中ではジャージ等軽装に着替えても良い。

帽子は可。華美、奇抜なものは不可。屋内では脱ぐ。

(2) 携行品

- ① 本人の健康保険証(なるべく本物)、身分証明証(学生証)、生徒手帳
- ② 旅行ノート(・ガイドブック)・筆記用具・懐中電灯・軍手
- ③ 旅行バッグ

(ア) 事前搬送用バッグについて

スーツケースに鍵をかけない！！

スポーツバッグ、スーツケース等でよい。ただし、空港では手荒に扱われるため、スーツケースを勧めるが、必要最小限の大きさで。また、貴重品や割れ物は入れてはいけない。危険物、特にスプレー缶・モバイルバッテリーは絶対に入れない。また、帰りの宅配便での搬送は、ビニールを被せて送る(無料)。また、追加で発送する事もできる(有料)。

(イ) 機内持込用バッグについて

移動・見学の際にも持ち歩くので、ディパック(背負い)等が望ましい。

旅行ノート・筆記用具・雨具・防寒具等が入る程度で十分である。

ただし、後ろが見えないため、盗難の被害に遭う危険性が高いので、貴重品に十分に注意する。

～ 参考 ～

機内へ持ち込める手荷物は、不安があればANAのHP内「機内に持ち込めるサイズとルール(国内線)」<https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/prepare/baggage/carry-on/carry-on.html> を見てください。刃物等危険物の一切は持ち込まない！！

- ④ 日用品(洗面用具・ティッシュ・ハンカチ・タオル・着替え・傘等)
- ⑤ マスク、電子体温計(水銀計不可)、常用薬
- ⑥ 水着【マリン体験希望者のみ】

※ 持ち物には、必ず学校名・氏名を記入する。

(事前に配られるネームタグは事前搬送用バッグに付ける→詰め込み時チェックあり！)

※ ゲーム類等は必要としない。

※ 携帯電話については、必要に応じて使用可とする。ただし、SNS等への投稿は一切禁止する。また、緊急時に備え、班長の携帯番号を担当が控える。

※ 酒、たばこ等の購入は土産であっても禁止とする。

(3) 事前研究

見学箇所について、図書館書籍やその他事前に配布された資料等で研究し、旅行ノートにまとめておく。

(4) 所持金

10,000+ α 程度とし、過剰な金額は持参しない。各自責任を持って管理する。ただし、地域クーポンが1日3,000円配布されるので、それも考慮すること。

3. 旅行中の行動－太高生としての自覚を持ち、品位ある行動をする。

(1) 集合・点呼

- ① 5分前に集合を完了する。
- ② 集合・出発の際は、班長が必ず点呼をとり担任へ報告する。

(2) 飛行機・バス

- ① 運転手さんやバスガイドさんには、礼儀正しい態度で接する。
- ② ゴミは各自が処理し、各クラスの清掃委員は最後に点検する。
- ③ バスの乗降の際には、周囲の安全に十分注意する。
- ④ 飛行機内では諸注意を厳守し、勝手な行動をして他の乗客に迷惑をかけない。

(3) 見学

- ① 見学時間・集合時間を必ず確認し、厳守する。
- ② ガイドさんの話をよく聞き、その指示に従う。
- ③ 見学箇所の指示に従い、静かに見学し、立入禁止・撮影禁止等の決まりを守る。

(4) 班別研修

- ① 必ず班単位で行動すること。単独行動は禁止する。
- ② 集合時間を厳守する。
- ③ 立ち入り禁止区域には絶対に立ち入らない。
- ④ タクシー運転手の指示・交通ルールを守り、事故に遭わない様に注意する。
- ⑤ 事故等、不測の事態が生じたときは、直ちに警察・消防署・担任・タクシーの運転手に連絡し、指示を待つ。
- ⑥ 挙動不審者等が接触してきた場合、直ちにその場から離れること。

(5) ホテル

- ① ホテルに到着したら、自分の部屋の位置・非常口・避難経路・消火器等を確認する。
- ② 施設・設備は大切に扱い、ホテルに迷惑をかけないようにする。
- ③ 入浴は決められた時間内に済ませる。
- ④ 入浴・就寝準備時間に限り、ホテル内の売店のみ利用可能(時間厳守)とする。
それ以外の施設(遊技場等)への立ち入りは禁止する。
- ⑤ 消灯後は静粛にし、他の部屋との出入りはしない。
- ⑥ 原則として、ホテル到着後、ホテルから外へは出ない。
- ⑦ 各自の部屋の出入りの際は、オートロック等に十分注意する。
- ⑧ 貸し切りではないので、他の宿泊客に迷惑をかけない。

4. 保健・衛生

- (1) 旅行中は、十分に睡眠をとる。睡眠不足は、すべての活動に支障をもたらす。
- (2) 暴飲・暴食を慎み、衛生面での自己管理に努める。
- (3) 体調不良の場合は健康相談の時間を利用し、指示を受ける。それ以外の時間に身体に異常を感じたら、直ちに担任・副担任に申し出ること。直接看護師のところには行かない。
- (4) 普段から使用している常備薬は、忘れずに持参する。

5. 非行防止

旅行中は、太高生としての自覚を忘れず、生徒手帳にある生活心得に基づいて行動し、不心得な行動をとってはならない。

もし、万が一にもそうした行動が生じた場合は、厳正な指導処置をとるものとする。

6. 最後に

今回の旅行では、先の戦争で唯一の国内地上戦の場となり、現在でも米軍の基地が県内の大半を占める沖縄を訪れる。戦争が多く沖縄の人達を苦しめ、またその傷跡がいまだに人々を苦しめている現状をよく認識しておく必要があるだろう。旅行中、太高生としての自覚は勿論のこと、場をわきまえた言動が切に望まれる。

事前の準備や学習をしっかりと行い、現地での活動を通じて、各自がそれぞれの心に「平和の種」を持ち帰り、それを大きく育て、今後とも平和への努力を続けていくことが必要である。